

越前市議会だより

第60号

令和2年(2020年)5月15日(金)

発行 編集 越前市議会

〒915-8530

福井県越前市府中一丁目13番7号

TEL:0778-22-3426

FAX:0778-23-3000

<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>

QRコード



新議場で初の定例会を開催

～市民に身近な議会を目指して～



手話で「賛成」を表す議員



越前万歳保存会による演舞披露

令和2年1月に新庁舎が供用開始されて以降、初めての定例会となる3月定例会が新議場で開かれました。

越前市議会では、市民に議会への関心を持っていただく機会と捉え、3月定例会初日の開会前に、新議場お披露目会を開催しました。

お披露目会では、越前万歳保存会のメンバーが新議場の完成を記念して越前万歳を上演し、傍聴席に集まった多くの市民は、真新しい議場を舞台にした華麗な舞に見入っていました。

最終日には、手話を明確に「言語」と位置づけ、手話への理解促進と普及を図る「越前市みんなの心をつなぐ手話言語条例案」の採決の際、全議員が手話で「賛成」を表し、全会一致で可決されました。

3月定例会の概要

令和2年越前市議会定例会は、2月20日から3月19日までの29日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和2年度一般会計予算案など予算案14件、「越前市みんなの心をつなぐ手話言語条例の制定」など条例案10件、工事の請負契約など一般議案3件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会における審査を経て、本会議最終日に、原案どおり可決されました。

また、越前市議会会議規則の一部改正について可決、人権擁護委員に関する人事案4件に同意し、議員の派遣1件を承認しました。



本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案審議
- 3面 ◆ 議案の議決結果
- 4～6面 ◆ 一般質問
- 6～7面 ◆ 委員長報告
- 8面 ◆ 市長への申入れ
議会モニター報告

令和2年度 当初予算決まる

総額 610億8,250万4千円 (前年度比1.9%増)

一般会計	351億2,100万円 (前年度比4.1%減)
特別会計	169億749万円 (前年度比15.4%減)
企業会計	90億5,401万4千円 (前年度比173.4%増)

3月定例会 議案審議



その他の審議については、5月下旬掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

令和2年度当初予算審議

福井鉄道200形車両の保存・展示や広場を整備

北府駅鉄道ミュージアム整備事業 1893万7千円

問 北府駅鉄道ミュージアム整備事業の内容は。

答 北府駅周辺や駅構内にある貴重な鉄道文化財と合わせ、福井鉄道の200形車両の保存・展示や広場整備等を行い、まちなか観光の北の玄関口としての魅力を高め、中心市街地の活性化や福武線乗車人数の増加につなげる。

問 事業スケジュールは。

答 第1期整備として、令和2年度から3年度にかけて鉄道を眺めながらくつろげる広場整備等を行い、第2期整備として、令和3年度から4年度にかけて福井鉄道の鉄道遺産である200形車両の保存・展示を行う計画である。



保存・展示を行う200形車両

若者の交流・男女の出会いの場を創出

第二の成人式開催支援事業 50万円

問 「30歳の成人式」をやめた理由と、「第二の成人式」の事業内容は。

答 現在の晩婚化を見据えると30歳での開催では若干遅いと考え、ターゲットを25歳から34歳と幅を広げた「第二の成人式」開催の支援を行うものである。

市内外に散らばった若者たちが、同郷・

同世代のつながりを取り戻すことで、将来的にUターン増を期待するとともに、若者の交流の場を創出し、男女の出会いやネットワーク形成を推進することを目的としている。

問 予算額の内訳と、制度の周知方法は。

答 1グループ当たり上限5万円の補助額で、10グループを想定している。周知方法は、市ホームページ、広報紙のほか、公民館等の各種施設も周知の場を使用し、親御さん世代にも周知を図っていききたいと考えている。

高さ2メートルのシカ対策用ワイヤーメッシュ柵を導入

農作物鳥獣害防止対策推進事業 1億2794万2千円

問 農作物鳥獣害防止対策推進事業の増額について、住民の意見をどのように反映しているか。

答 増額の主な理由として、防護のワイヤーメッシュ柵を要望する集落の増加により、総延長29キロメートルの柵分の6020万円を計上している。

特に、各集落から、シカが高さ1.2メートルのワイヤーメッシュ柵や3段張りの電気柵を飛び越えてしまうという声があったことから、今回高さ2メートルのニホンジカ対策用ワイヤーメッシュ柵の導入を盛り込んでいる。



ワイヤーメッシュ柵デモ設置の様子

菊人形館を期間以外も活用

たけふ菊人形屋内展示場整備事業 1億6992万円

問 老朽化した菊人形館を取り壊し、第70回の開催となる令和3年度にかけて再整備を行っていくとのことだが、どのような形に整備していくのか。

答 約1000平米の催事場と、600平米の倉庫機能を整備する予定である。菊人形期間中は、倉庫機能もあわせて1600平米で催事を行う。菊人形期間以外については、1000平米は常時使用可能な屋内催事場として活用し、600平米については倉庫機能としての使用を考えている。



再整備を行う菊人形館

新婚世帯の住宅取得に補助金を加算

新住宅取得推進事業 5千万円

問 住宅取得推進事業の変更点は。

答 基本額30万円に、要件に基づき加算を行い、最大140万円の補助を行う。

加算項目の変更点として、近年、結婚後に賃貸でなく、すぐに一戸建ての住宅を取得する動きが見られることから、新婚世帯の住宅取得にあわせ、市内定住の促進対策として婚姻後3年未満の新婚世帯に対し30万円の加算を行う。

また、国の交付金制度の終了に伴い、まちなか住宅取得推進事業を本事業に統合し、新たにまちなか居住の促進対策として、中心市街地での住宅取得に対する加算30万円を追加した。

さらに、市外からの転入者への加算につ

いて、市内に住所を有してから申請時点まで半年未満の者としていたが、県外からの移住者の場合、市内に移り住んですぐ住宅を取得することは実情にそぐわないため、県外からの転入期間を半年から3年以内へ延長拡充し、県外からの転入者の定住化を促進していく。

条例審議

子ども医療費助成対象を高校生まで拡充

越前市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について

問 改正の内容は。

答 子どもの医療費の助成対象者の範囲を18歳に達した日以降の最初の3月31日まで拡充する等の改正を行うものである。

問 改正による効果は。

答 現在は中学校3年生までが助成対象者となっているが、今回新たに高校生年齢相当の1758人が助成対象となると算定している。子どもの通院、入院に係る医療費の一部の助成により、子ども一人ひとりが平等な医療サービスを受けられることができ、子育て世帯の経済的負担を軽減する措置として効果的だと考えている。

令和元年度3月補正予算審議

児童生徒1人1台端末整備に向けた環境を整備

教育情報化推進事業 3億6482万8千円

問 補正の内容は。

答 国の補正予算に対応したGIGAスクール構想の追加計上等である。国のGIGAスクール構想とは、令和5年度までに児童生徒に1人1台の端末を整備しようというものであり、そのために必要な高速大容量の校内ネットワークの整備費や、電源キャビネットの設置費用等を今回計上している。

議案の議決結果

令和2年3月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果	議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第2号	令和元年度越前市一般会計補正予算(第6号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)	議案第18号	越前市国民健康保険税条例の一部改正について	教育厚生	可決(多数)
議案第3号	令和元年度越前市下水道特別会計補正予算(第3号)	産業建設	可決(全員)	議案第19号	越前市みんなの心をつなぐ手話言語条例の制定について	教育厚生	可決(全員)
議案第4号	令和元年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)	議案第20号	越前市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第5号	令和元年度越前市介護保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)	議案第21号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第6号	令和元年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)	議案第22号	越前市特別会計条例の廃止について	産業建設	可決(全員)
議案第7号	令和元年度越前市水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)	議案第23号	越前市都市公園条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第8号	令和2年度越前市一般会計予算	総務 教育厚生 産業建設	可決(多数)	議案第24号	越前市水道事業給水条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第9号	令和2年度越前市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決(多数)	議案第25号	工事の請負契約について	産業建設	可決(全員)
議案第10号	令和2年度越前市介護保険特別会計予算	教育厚生	可決(全員)	議案第26号	工事の請負契約について	産業建設	可決(全員)
議案第11号	令和2年度越前市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決(全員)	議案第27号	市道路線の認定及び変更について	産業建設	可決(全員)
議案第12号	令和2年度越前市水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)	議案第28号	令和元年度越前市一般会計補正予算(第7号)	総務 教育厚生	可決(全員)
議案第13号	令和2年度越前市工業用水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)	議案第29号	越前市議会会議規則の一部改正について		可決(全員)
議案第14号	令和2年度越前市下水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)	議案第30号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		可決(全員)
議案第15号	越前市監査委員条例及び越前市水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	総務	可決(全員)	議案第31号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		可決(全員)
議案第16号	越前市職員定数条例の一部改正について	総務	可決(全員)	議案第32号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		可決(全員)
議案第17号	越前市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部改正について	総務	可決(全員)	議案第33号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		可決(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：○、反対：×、欠席：欠)

議案	件名	賛 否																						
		市民ネットワーク				誠和会(自民)				末馬会				政新会			共産		志政会		諸	諸	諸	
		砂田 竜一	小玉 俊一	吉田 啓三	三田村 輝士	大久保 健一	川崎 俊之	前田 一博	片粕正二郎	中西 昭雄	清水 一徳	近藤 光広	橋本 弥登志	安立 里美	城戸 茂夫	川崎 悟司	加藤 吉則	前田 修治	題佛 臣一	小形 善信	桶谷 耕一	吉村 美幸	大久保 恵子	
議案第8号	令和2年度越前市一般会計予算(可決)	○	○	○	議長	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第9号	令和2年度越前市国民健康保険特別会計予算(可決)	○	○	○	議長	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
議案第18号	越前市国民健康保険税条例の一部改正について(可決)	○	○	○	議長	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○

(注) 議長は採決には加わっていません。 共産：日本共産党議員団 諸：諸派

平 井 重 品
岡 上 屋 川
正 伸 志 満
実 子 啓 盛 氏
氏 氏 氏 氏
(北町) (中平吹町) (菖蒲谷町) (武生柳町)

3月定例会で採決された人事
人権擁護委員の候補者の推薦に同意



小川 大久保 大久保 加藤 砂田 橋本
形 崎 保 健 藤 田 本
善 悟 恵 一 吉 竜 弥
信 司 子 一 則 一 登志

議会活性化特別委員会

越前市議会基本条例の趣旨に基づき、さらに議会改革について継続的に調査研究を進めるため、7人の委員をもって構成する議会活性化特別委員会を設置しました。今後、制定から10年が経過した議会基本条例の見直し等について議論してまいります。

議会活性化
特別委員会を設置

さらなる
議会改革へ

3月定例会 一般質問

3月定例会では、18人の議員が2月28日・3月2日・3月3日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

人口

人口減少時代における課題への解決策は

問 人口減少時代における課題の一つとして、路線バスの利用者が年々減少し赤字が拡大しているが、どこまでこれまでのような運行を続けていくのか、市の考えを示せ。

答 路線バスについては、赤字が拡大傾向にあることは認識しているが、交通弱者の移動手段として必要であり、赤字路線といえども簡単に廃止はできないと考えている。今後とも財政負担を抑えながらも、利用者の利便性を損なわないよう効率の良い運行形態の実現に向け、検討していきたい。



政新会 城戸 茂夫

まちづくり

紫式部公園及び藤波亭をまちづくりに更に生かせ

問 紫式部公園と藤波亭の再整備で、中心市街地からの動線もアピールすべきである。また、自らも関わった経験上、沖繩サミットでの各国首脳への土産として源氏物語アカデミーが作製した品物が採用された実績も、まちづくりや市のPR、土産品等に生かす試みとして提案したい。

答 半世紀に一度のまちづくりの推進において、本事業も本市のアピールのために非常に重要な素材と考え、それぞれ提案のあったことも含めて生かしていきたい。



末馬会 近藤 光広

南越駅(仮称)周辺まちづくり

南越駅(仮称)周辺における企業誘致の考えを示せ

問 南越駅周辺まちづくり計画で示された「フォレストシティ」「スマートシティ」の理念について、理解してもらえそうな企業をどのように誘致していくのか。

答 オープンイノベーションの方向性を示す推進ビジョンを策定し、プレイヤートとなる企業・人材とのネットワーク形成、地元企業や住民への意見聴取や機運醸成を行うほか、企業・機能・インフラ整備等を反映したイメージ図を作成し、産業集積地の整備などに活用すると共に、企業への誘致活動に取り組んでいく。

他の質問項目 子ども・子育てについて

南越駅周辺まちづくり計画について

問 丹南2市3町での誘客取組みを示せ。

答 丹南地域周遊・滞在型観光推進事業では、広域観光の商品造成やプロモーション、二次交通、受け入れ環境の整備等について大手旅行会社や事業所等と連携し、実証実験や協議を進めている。南越駅(仮称)は丹南エリアの観光客の玄関口となることから、2市3町が連携を図ることで、より効果的な事業展開ができる。今後も、丹南地域の観光推進の取組みを図っていく。



誠和会(自民) 川崎 俊之



市民ネットワーク 砂田 竜一

福祉

幼保教育の無償化で待機児童は発生しないのか

問 保育園の入園希望者で待機児童が発生することはないのか。入園審査では保育の必要性を点数で決めるが、それだけでは家庭の状況が十分に把握できず、必要な児童が入園できないのでは。

答 昨年度より申し込みは55人多いが、入園に向けた調整は3月末まで行うので現時点では待機児童の見込みがつかない。入園調整前に行う面接の際には、書類だけでは把握できない家庭の状況を十分に確認し、たうえで調整している。

他の質問項目

無業者やひきこもり状態にある方への支援体制の整備を

問 現在の支援制度には対象年齢・対象要件による排除や支援の途絶があることから、狭間にある当事者や家族への支援が届いていないのでは。

答 ひきこもりの方の相談も多くあり、関係機関と連携しながら対応している。今後、これまでの相談事案について検証する中で、事業効果と課題を整理し、制度運用の在り方を見直していきたいと考えている。

他の質問項目

「聴覚障害者災害支援マニュアル」の策定を

問 「市みんなの心をつなぐ手話言語条例」策定後の施策の第一弾として、聴覚障害者災害支援マニュアル策定を求め、聴覚障害者と健聴者の共生社会を目指すための課題は多いが、まずは近年多発する自然災害から聴覚障害者を守るための「聴覚障害者災害支援マニュアル」の策定を急ぐべきでは。

答 策定に当たっては、当事者の方々と話し合いながら先進事例を参考に策定していきたいと考えている。新年度策定予定の、市障害者計画の協議の中で検討する。

他の質問項目

地域福祉の推進について

問 社会福祉法では、社会福祉協議会は地域福祉の推進を図ることと規定されている。業務として、地域に外向き、地域づくりのための活動基盤をつくれ。

答 市社会福祉協議会は、さらなる地域連携を模索するべきであり、当事者として地域課題への関与を深めるべきだと考えている。議員の提案を受け止め、市として必要な支援、指導を行っていききたい。

他の質問項目

森林環境譲与税について 教育情報化推進について



末馬会 橋本弥登志



諸派 大久保恵子



志政会 題佛 臣一



日本共産党議員団 前田 修治

※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をたずねるために行う質問のことをいいます。

食の安全

食の安全 安心の向上を

学校給食・パンにおいて、負担が増えても、県産 国産の小麦に切り替えるべきと考えるが、課題は。

まず、県産小麦は生産量が少ないため、給食に供給するだけの十分な量のパンがつかれない。また、国産小麦は、パンづくりに必要なグルテンの含有量が少ないため、べたつきがあり、焼き上がりにポリウムが出ない。費用面の課題のほか、生産量や国産小麦の特性が課題である。

他の質問項目

・地産地消に対する市の具体的支援策は
・食の安全では、予防の原則を徹底させることが有効だが、所見は



日本共産党議員団
加藤 吉則

交通

並行在来線経営における負担割合について、市の考え方は

並行在来線の経営における出資金や経営安定基金について、沿線市町と他市町の負担割合はどのようになるのか、県・市の考えは。

市町間の負担割合のあり方については、平成29年度に県が実施した旅客流動調査によると、全17市町の住民が経営分離区間を利用していること、新幹線の開業効果は県内一円に波及することから、市としては、全県で経営を支える体制が最良と考えている。県においては、沿線、非沿線で受益に差があることから、非沿線市町の理解を得られるよう協議をしていくとのことである。

他の質問項目

・新型コロナウイルスへの対応について
・農政について



政新会
川崎 悟司

福祉

待機児童の現状

入園保留解消への取り組みを示せ。
保育士の人材確保について、公立園では、令和2年度に正規職員8人を採用予定であり、正規以外の採用者も増加している。働く場の環境改善については、私立園に対し、保育補助者雇用強化事業、および保育に係る周辺業務を行う保育支援者の配置に要する費用を補助する保育体制強化事業を実施し、保育士の離職防止を図る。公私立ともに、ICTを活用し、園児の出欠状況、延長保育料の算定など事務作業の短縮を図り、事務負担を軽減していきたい。

他の質問項目

・市のゴミ処理と分別政策の考え方
・市教育振興ビジョンの改定について



諸派
吉村 美幸

高齢者への事故防止対策に対する補助

これまで2年間3回にわたり、高齢者による事故を防ぐべく急加速防止装置の取り付けに対し、市として補助金を出せないかとの質問をしてきた。当初予算に計上された新事業の概要は。

高齢者安全運転支援装置設置事業補助金については、市内に住所を有する65歳以上の高齢運転者が、後付け安全装置を購入及び設置した場合に、負担した金額に対し1万円を補助することを考えている。

他の質問項目

・近年の異常気象について市の対応
・企業立地促進について



市民ネットワーク
吉田 啓二

浸水対策

浸水被害対策を示せ

近年多発する豪雨に対し、市街地化が進む街中の浸水対策はどうなっているか。また、浸水対策のため農業用水路、下水道、雨水排水路を一元的に所管する部門の創設はできないか。

都市化した地域の雨水浸水については、近年課題になっている事は認識している。被害の現状・要望等を確認・調査しながら軽減対策を行う。また、それぞれの施設について、今まで以上に各部門が連携を深め、課題解決にあたる。

他の質問項目

・市観光振興プランについて
・瓜生産業団地造成事業総括について



未馬会
中西 昭雄

公共施設

市教育施設等長寿命化方針について

公民館・児童福祉施設・スポーツ施設等を土砂災害特別警戒区域において耐震化・新築することは是非について、市の見解は。

土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンとは、土砂災害により建築物が破壊され、住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域のことである。3月末に策定の市教育施設等長寿命化方針では、レッドゾーン内にある施設は、現地での改修ではなく別の場所へ改築することとする。

他の質問項目

・今立地域の高齢者福祉について
・青少年のインターネット利用の課題



市民ネットワーク
小玉 俊一

SDGs

自治体SDGsの推進について

国連が2030年までに実現をめざす「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成期限まで残り10年。市でも自治体SDGsを推進すべきだと思いが、市としてどのように認識しているか。

SDGsの取組みは、本市の基本理念である「協働」という観点においても、市民主体のまちづくりが促進できるものと認識している。自治体SDGsの取組みを一層推進することにより、本市の地方創生の深化に繋げ、「元氣な自立都市越前」のさらなる創造に努める。

他の質問項目

・高齢者の運転技術を補うサポカー補助金について
・市の「空家対策」について



諸派
桶谷 耕一

武生中央公園

武生中央公園周辺整備と駐車場の確保について

武生中央公園周辺の駐車場は、文化センター利用を含めるとき、絶対数に不足を生じている。当初の想定より多くの利用者がいる現状において、駐車場の確保の考えは。

集客イベント等がある場合、臨時駐車場を確保せざるを得ない状況である。都市公園利用者については、通過交通の無い公園敷地内に駐車場を確保し、安全安心な活用が保証されることが本来の姿であると考えている。敷地内で有効活用できるスペースを検討し提案したい。

他の質問項目

・スマートシティの導入について



志政会
小形 善信

市議会本会議・常任委員会を 傍聴しませんか。

本会議や委員会は、入口で住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によって変更となる場合があります。

6月定例会日程

月日	時間	会議名	丹南ケーブルテレビ再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
6月11日(木)	午前10時	本会議 (提案理由説明)	6月12日(金) 午後6時
16日(火)	午前10時	本会議(質疑)	6月22日(月) 午後6時
17日(水)	午前10時	本会議(一般質問)	6月23日(火) 午後6時
18日(木)	午前10時		6月24日(水) 午後6時
19日(金)	午前10時		6月25日(木) 午後6時
23日(火)	午前10時	教育厚生委員会	
24日(水)	午前10時	産業建設委員会	
25日(木)	午前10時	総務委員会	
7月1日(水)	午後2時	本会議 (委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)	7月2日(木) 午後6時

3月定例会 一般質問

公民館

ふるさと教育の推進

問 公民館の位置づけを高め、地域教育ができる人材投入が必要ではないか

答 公民館は地域自治の拠点としての役割を担っており、地域に密着した課題の解決に向け、人材の発掘、育成が重要であると認識している。公民館職員は、毎年、地域の人材育成を課題とした研修を実施し、意識向上を図っている。今後も地域の多様な人材を活用し、子供たちのふるさとへの理解や愛着心を育成していく。

他の質問項目

- ・今立地域における高齢者福祉対策について
- ・インバウンド事業について



清水 一徳

新庁舎

市民が相談しやすい窓口を設置せよ

問 新庁舎の一階の窓口は証明書発行等「事務窓口一元化」であり、今まで何度も検討するとした包括的相談窓口ではない。市民が相談しやすい窓口の創設を。また、高齢者の相談窓口であった「地域包括センター」の窓口表示がないのはなぜか。

答 窓口をテーマごとにし、1階フロアーに7つの部署の職員を集め、連携を取りやすくした。窓口表示は、所属課名等ではなく、ライフイベントやテーマごとに表示している。地域包括センターや長寿福祉課等の名称表示になれた方々には不便だが、ご理解いただきたい。

他の質問項目

- ・登下校時の児童生徒の安全確保に、防犯カメラの設置を
- ・武生中央公園の駐車場不足について



安立 里美

常任委員会委員長報告から

3月5日、9、12日、19日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査を行いました。本会議最終日に行われた委員長報告から、令和2年度一般会計予算の審査結果報告の一部を紹介いたします。

総務委員会

武生郵便局南側の市有地売却価格の根拠は

問 予算計上された7千万円という価格について、その算出根拠は。

答 路線価を基準として、国税庁の財産評価基準に基づき土地形状の減額補正を行い、そこから建築物があることによる取壊し費用を差し引いて算出した結果、7千50万円程度となったが、一定の基準に基づき算出した金額であるため、適正であると考えている。

問 7千万円という売却価格は、これから見直すことになるのか。

答 新年度に入り、売却する時点において、改めて評価しなおすものである。

北陸新幹線建設負担金の市持ち出し分を示せ

問 予算上、負担額は1億1050万3千円で、地方交付税での措置がなされるとのことだが、実際の市の持ち出し分はどのくらいになる見込みか。

答 建設工事費のうち、市は、駅部について、県負担額の10分の1を負担する。現在、県から、全体で6億7千万円になると聞いており、財源として、90%を地方債により充当し、その元利償還金の50%が地方交付税で措置されることから、市の実質的な負担は約3億7千万円となる見込みである。

防犯カメラ設置後の課題解消に努めよ

問 今回、2地区が新たに防犯カメラを設置することだが、他にも複数地区から申請があった中で当該地区が選定されたのか。

答 令和元年度に、国高、坂口、王子保、北新庄の4地区で14台設置した。令和2年度は、申請の



建設工事が進む南越駅(仮称)周辺

あった、東、神山、国高、王子保、北新庄の5地区に31台設置予定である。

問 防犯カメラ設置後の管理等について、市民と議会との語る会においても各種意見や問題点を指摘されている。既に設置されている地区については、そのような課題は解消されているのか。

答 道路占用申請等、防犯カメラ設置に付随する手続が煩雑である、との意見をいただいているので、地区の負担が軽減されるよう、手続きの簡略化に努めたい。

問 各地区で最も懸念されている事項は、録画されたデータの管理であり、市全体での統一された

委員長報告全文は5月下旬掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム 検索

基準を示すよう強く要望されている。設置済みの地区では、その問題は完全に整理されたのか。

【答】 今回の補助金は県の制度開始当初から、設置運用に係る要領の作成が補助の要件となっており、それに則って運用することでプライバシーへの配慮はなされていると考えている。また、要領の作成にあたっては、内容の指導やひな型の提示等により、各地区の懸念の解消に取り組んでいる。

教育厚生委員会

「今寿苑」廃止後の影響を考慮せよ

【問】 今寿苑は令和3年3月に廃止されると聞いているが、現在利用しているサークル団体はどこへ移動するのか。

【答】 現在利用しているサークル団体と協議する中で令和2年度の後半頃から、順次、社会福祉センターへ移動し、活動していく予定となっている。

【問】 今寿苑のバスが廃車となる令和3年度以降は、市民バス「のろっさ」を利用し、社会福祉センターに来ていただくよう住民に説明しているが、現在と異なりバスの使用料が有料となる。住民への説明はしっかり行ってほしい。また今寿苑廃止後の譲渡先を公募で選定することだが、譲渡先はどのように考えているのか。

【答】 質の高い福祉や介護のサービスが安定的に提供できる体制かどうかを審査し、社会福祉法人や民間問わず、譲渡先を選定したい。市東部の福祉拠点と見え、中長期的な視点で整備を行ってきたい。

子ども広場の来場者を増やす新たな施策は

【問】 広場への来場者がオープン3か月で10万人以上ということであるが、今後来場者をより増やすための新たな施策は考えているのか。

【答】 想定以上のお客様に来ていただいているため、人気のある遊具は順番待ちが発生

している。そのため、たくさんのお客様により快適に遊んでいただけるよう今回予算を計上し、どんなお子さんでも遊ぶことができる遊具や出し入れのしやすい遊具の購入を予定している。

また、毎年5月のゴールデンウィークに武生中央公園で行っていたちびっ子フェスティバルの会場を、てんぐちゃん広場に移し実施することを考えており、同時に武生中央公園で開催するわんぱく王国とあわせ2つの拠点で児童福祉週間のイベントを行いたい。



多くの来場者でにぎわうてんぐちゃん広場

教育補助員を適切に配置せよ

【問】 令和元年度は41名であった教育補助員が、令和2年度は43名と2名増えたということだが、教育補助員をどのような配分で各学校に配置するのか。

【答】 各学校や就学指導委員会からの報告により、各学校における配慮が必要な子の人数は全て把握している。学校の状況は毎年変わるため、状況に応じて各学校に教育補助員を配置していく。

【問】 大変な仕事だが、教育補助員の退職などはあるのか。

【答】 毎年行っている教育補助員の面接で、子どもたちが卒業するまでは一緒にいたいという要望があり、できれば同じ学校で勤めたいという方が多く、やりがいを持って

仕事をしていると感じている。ほとんどの方が勤務を継続されており、教育委員会としても大変助かっている。

産業建設委員会

新しいごみの出し方の周知を徹底せよ

【問】 新ごみ処理施設建設のスケジュールは。

【答】 令和2年の10月頃に施設の全体像が完成し、令和3年1月から燃やせるごみの受け入れによる負荷運転を行い、令和3年4月から本格的に稼働する予定と南越清掃組合から聞いている。

【問】 令和3年1月から、ごみの出し方が変わると聞いたが、市から市民に対してどのように周知を行うのか。

【答】 南越清掃組合と連携し、新年度の4月から、地域や団体、町内の会合などに直接向いて丁寧な説明に努めていく。また受け入れ前の12月には、広報紙やホームページへの掲載、情報番組の放映を行うほか、各町内にあるごみステーションにも広報チラシを掲示し、周知をしていく予定である。



建設が進む新ごみ処理施設(南越前町)

南越駅周辺先端産業ゾーン推進計画策定等業務委託の内容は

【問】 南越駅周辺先端産業ゾーン推進計画策定等業務委託料2千万円の内容は。

【答】 令和元年度に策定された南越駅周辺まちづくり計画と市産業活性化プランの改定を受け、越前市版スマートシティの実現に向け、産業の高度化・多様化に資するオープンイノベーション推進のためのビジョン策定と、先端産業ゾーンのイメージ図の作成を、県の支援を受けて行う。あわせて、地元企業や住民への意見聴取や機運醸成に取り組み、企業誘致を進めていく。

【問】 委託先が重要になるため、委託業者は慎重に選定いただきたい。

【答】 今回の計画を策定するパートナー企業と、計画を実行に移すためのパートナー企業の2つが大変重要になると認識しており、十分な検討を行っていききたい。

改修する藤波亭を効果的に活用せよ

【問】 藤波亭改修について展示委託費に1億円、改修工事費に5千万円、総額1億5千万円の経費がかかる理由は。

【答】 藤波亭は、畳の広縁や厨房など、特殊な作りとなっており、それらを全て展示の間に変更することから、改修に費用がかかっている。また新しい施設では、国府が置かれた本市の歴史、紫式部の生涯や本市との関係等を、映像を駆使した展示で紹介する「紫式部の間」のほか、企画展等が行える「催しの間」、隣接する紫式部公園の紹介や、本市のみならず、丹南地域の観光案内を行う「旅路の間」等を設ける予定である。

【問】 映像や展示物を整えて、それを来館者が自由に見て、感じる形の観光よりも、地元のボランティアガイドから、直接言葉で説明や案内が聞けるなど、地元民とのふれあいの場がある観光の方が印象に残り、リピーターの獲得にもつながると考える。また、周遊観光という点からは、他の観光施設と連携した企画を行うことも効果的だと考える。すばらしい施設ができるのであれ

ば、今後、利活用を工夫し考えていただきたい。

【答】 今後、この施設をどう生かしていくかを検討する中で、地域とのつながりを持つということについても、検討していききたい。より魅力的な施設に再整備するため、来館者数の増加はもちろんのこと、来館者の満足度が上がるよう努めていきたい。



改修後の藤波亭イメージ図

南越駅周辺まちづくり事業の調査委託業者の選定について十分な検討を

【問】 南越駅周辺まちづくり事業における調査等委託料2251万7千円の目的と内容。

【答】 令和元年度に策定してきた、南越駅周辺まちづくり計画の実現を図るための委託費である。令和元年度末で策定を終える計画の内容を踏まえ、令和2年度は、開発の単位や面積、道路や排水路の整備、また建物の高さ等の景観的な取り扱い等について、開発に関するルールを定めていくとともに、開発の進め方を示す開発プログラムを策定していく。そのほか、エリアマネジメント組織の構築、民間事業者への誘致活動、都市計画決定の手続き等に要する資料の作成、まちづくり協議会との調整等の取り組みを行っていく。

申し入れ内容

- (1) 市民の感染率が他市に比して高いことから、危機感をもって必要な対策を迅速に講じること。
- (2) 国、県が示す経済対策を実施するにあたり、市においてはこれに上積み、横出しされた手厚く十分な経済対策を行うこと。特に中小企業や小規模事業者、さらには、子どもやひとり親家庭に対する支援に配慮すること。
- (3) 休校や外出自粛要請などにより、家族が家庭内で過ごす時間が増えることから、児童虐待やDV被害が起こらないよう万全の対応を取ること。
- (4) 備蓄用マスクについては、現下の品薄状態を踏まえ、必要に応じて躊躇なく医療機関や福祉施設等に配布すること。
- (5) 新型コロナウイルス関連の情報をホームページに一元化し、わかりやすく市民に情報発信すること。また、ホームページを見ることのできない市民に対しても適切に情報発信を行うこと。
- (6) 外国人市民に対し、新型コロナウイルスに関する情報発信を的確に行うこと。
- (7) 感染者、濃厚接触者等の情報は慎重に取り扱うとともに、差別や偏見などの人権侵害が発生することがないように取り計らうこと。
- (8) 診療に携わった医療機関やその関係者のみならず、すべての医療機関関係者に対し、誤解や偏見による差別を行わないように取り計らうこと。
- (9) 濃厚接触者が発生した家庭に高齢者や子どもがいる場合、当該家庭に対して必要に応じて十分な支援を行うこと。
- (10) 休校により在宅している児童生徒に対する学力面、安全面での支援を充分に行うこと。
- (11) 上下水道や保育所などあらゆる面にわたって市民生活を支えている重要な基盤である市役所が機能停止することのないよう、職員のリスクマネジメントの徹底を図ること。
- (12) 当面の間は感染予防の観点から、個々の議員からの情報提供や提案、要望については文書で集約して議会から伝えることとするので、誠意をもって提案、要望に回答すること。



市長へ申し入れを行う正副議長

新型コロナウイルス 感染症対策に関する申し入れ

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大により、越前市内でも多くの感染者、濃厚接触者が確認され、これに伴う外出自粛による市民の健康不安と経済的な損失、学校休校の長期化等、市民生活のあらゆる面において深刻な影響が発生しています。

越前市議会としても、この状況に強い危機感を抱き、新型コロナウイルス感染症対策を進めるにあたって、4月17日に正副議長が市長に対し左記の通り申し入れを行い、文書による回答を求めました。

今後、市民の声を市政に伝え、市議会も一丸となって対策に取り組めます。



総務委員会委員との意見交換 (2月17日)

【意見】 防犯カメラ設置に対する補助があることは、町内の役員までは知っているが、一般市民までは関心を持っていないと思うので、積極的な情報発信をお願いしたい。

【回答】 令和元年度に、防犯対策事業として防犯カメラ設置補助金が予算化された。対象は各地区自治振興会、1地区10台まで、経費の3分の2を補助対象とし上限10万円となっている。設置の要望は、各地区の自治振興会へ上げていただきたい。また、市民への情報発信に関しても、良い形となるよう取組みたい。



産業建設委員会委員との意見交換 (11月27日)

【意見】 ハザードマップの改定に関する補正予算について、内容に間違いはないか、現地を良く知る地域の方々とよくコミュニケーションを取った上で作成して欲しい。

【回答】 ハザードマップの改定にあたって、理事者にも伝え、議会としても十分に注視する。

【意見】 市民との語る会に、若い人の参加が少なかった。各団体等の会長宛に直接依頼すれば、若い市民との語る会ができるのではないか。

【回答】 対象となる市民団体を特定して行う常任委員会単位での語る会を、若い人や子育て世代等のグループと実施するなどの方法により、今後さらに取組みを強化していく。



教育厚生委員会委員との意見交換 (10月16日)

【意見】 学校の授業でも、実際の議会の様子を、子どもたちに見せることができるとよい。

【回答】 野外学習の一環として、議会見学を呼びかけることにしたい。

【意見】 子どもたちと話をしてみても、「こういう議員さんがいる」と覚えてもらえるような接し方をされてはどうか。

【回答】 小学生の議場見学会に議員が対応し、意見交換も行った。今後も子どもたちの議場見学会対応を、議員にて行う方針である。

議会モニター1年を終えて

令和元年度の議会モニター会議では、モニター制度が始まって以来初めて、教育厚生委員会、産業建設委員会、総務委員会の3常任委員会の委員との意見交換をそれぞれ行いました。議会モニターの方々にいただいた意見を一部紹介します。

モニター制度とは?

議会への市民参加を推進する取組みの一環として、市民の意見を議会活動に反映できるように議会運営に対する要望や意見をいただくために平成28年に導入されました。

議会モニターの方々に

- 河合 秀輝 (公募)
 - 小柳 博俊 (越前市商工会推薦)
 - 酒井 昭代 (越前市女性会推薦)
 - 坂下 大輔 (武生商工会議所推薦)
 - 須磨美佐子 (公募)
 - 玉川 忠春 (連合福井丹南地域協議会推薦)
 - 土本 俊三 (越前たけふ農業協同組合推薦)
 - 蜂谷 雄次 (武生青年会議所推薦)
 - 広瀬 勉 (越前市いきいきシニアクラブ推薦)
 - 福島 宏 (越前市自治連合会推薦)
 - 山本 悦子 (公募)
 - 和田てる子 (越前市社会福祉協議会推薦)
- (五十音順・敬称略)

議会モニターの方々に、1年間ご協力ありがとうございました。

問合せ先 市議会事務局

TEL (22) 3426